

東邦ガスとのLNG売買契約の締結について マレーシアLNGティガ・プロジェクト

記者各位

当社(社長:西尾 進路)が出資するマレーシアLNGティガ社(以下「ティガ社」)は、東邦ガス株式会社(以下「東邦ガス」)に対して、2007年4月以降20年間にわたり、契約数量52万トン/年のLNG供給を行うことで合意しました。本日、売買契約書への調印が行われましたのでお知らせします。

東邦ガスはガスコンソーシアム(東邦ガス、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社)としてティガ社と長期売買契約を既に締結しておりますが、本契約は東邦ガス単独での新規長期売買契約となります。

“マレーシアLNGティガ・プロジェクト”は、マレーシア・サラワク沖で生産された天然ガスを当社および、マレーシア国営石油会社ペトロナスなどが出資する合弁会社(ティガ社)が操業するプラントで液化して、LNGとして国内外の需要家に供給するプロジェクトです。

本プロジェクトの上流部門では、当社グループの石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森 輝夫)などがサラワク沖の鉱区でガス田の開発を行っております。

当社は、エネルギー需要の拡大が見込まれる東アジアにおいてLNGというクリーンなエネルギーの一貫操業体制を構築できたことは、「総合エネルギー企業体制の確立」に向けた大きな前進であるとともに、地球環境への負荷の低減という点においても大きな意味を持つものと考えております。今後も本事業を当社のコアビジネスのひとつとして位置付け、さらなる事業拡大を目指してまいります。

以上



マレーシアのガス田(ヘラン・ガス田)

 [マレーシアLNGティガ・プロジェクト概要 \(PDF:13KB\)](#)